

第17回ゴイアス盆踊り

山中臨時代理大使挨拶（2019年8月23日（金））

皆さん、こんばんは。

第17回目となるゴイアス盆踊りがこのように大規模に開催されていることに、共催者の1人として大変嬉しく思います。本イベントを企画されたゴイアス日伯文化協会の皆さん、ゴイアス州、ゴイアニア市関係者の皆さん、そしてご尽力された全ての皆さんに心より敬意を表します。

盆踊りは、先祖の霊が家族のもとに帰ってくる期間と伝えられているお盆の期間に、祖先の霊を迎え送るための念仏踊りとして始まった日本伝統舞踊で、日本の夏の風物詩の1つとされています。ここブラジルでも各地でこの時期に盆踊りが開催されており、ブラジルの冬の風物詩の1つと言っても過言ではないでしょう。これほどまで大規模なゴイアス盆踊りが毎年開催されるのは、何よりも日本から渡伯した方々・そのご子息がこれまで多くの試練を乗り越え、ブラジルの発展に貢献するとともに、様々な形で日本文化を普及してこられた皆さんのご尽力あってこそのことだと思います。

昨年の日本人ブラジル移住110周年に引き続き、今年は日本人アマゾン移住90周年、そして来年2020年はリオから東京にオリンピックとパラリンピックが引き継がれます。このような機会を活用して、在ブラジル日本国大使館も両国の関係を一層強化すべく日本文化普及等の様々な活動をしています。日本や日本文化に親しむブラジル人が増えることで、日ブラジルの友好関係は更に深まるでしょう。

本日はこの後、琉球国祭り太鼓、光太鼓、ゴイアニア・キョウシン太鼓による太鼓演奏、そして盆踊りが行われます。ここにお集りの皆さんも盆踊りを楽しんでいただければ幸いです。

本盆踊りを通じて日ブラジルの文化交流が益々大きく盛り上がること、より多くの皆さんに日本文化への親しみを持っていただくこと、そして皆さんの益々のご健勝とご活躍を心から祈念いたします。有難うございました。